

山口県立大学 地域創生への挑戦

2014年10月21日 「公立大学の力を活かした地域活性化研究会」



山口県立大学附属地域共生センター
所長 加登田恵子



公立大学法人 山口県立大学

はじめに

- 1 山口県立大学の概況
- 2 山口県立大学の教育理念と「地域貢献」
- 3 「地域共生事業」と地域活性化
～山口県立大学らしい大学へ～
- 4 「地域共生教育」と「地域共生研究」
- 5 課題と展望



国際文化学部

国際文化学科
文化創造学科

社会福祉学部

社会福祉学科

看護栄養学部

看護学科
栄養学科

別科助産専攻

大学院

国際文化学研究科
健康福祉学研究科

学生数 1,393名
教員数 111名
職員数 32名

2

地域の教育ニーズに即した改組転換

女子短大

国文科

+

家政科

(被服・食物・保育)

4年制大学

文学部

+

家政学部

(国文学科・児童文化学科) (食物栄養学科・被服学科)

共学化

国際文化学部

国際文化学科
文化創造学科

社会福祉学部

社会福祉学科

看護栄養学部

看護学科
栄養学科

3

教育の基本理念

人間尊重
の精神

生活者の
視点の重視

国際化への
対応

地域との共生



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

4

山口県立大学らしい大学へ

・ 2003年10月

「山口県立大学の在り方検討懇話会」報告

大学間競争の
激化

地方分権の
推進

生涯学習ニーズの
高度化

今まで以上に、地域社会に積極的に関与し、貢献する 大学
『地域に存在感のある大学』へと変革する必要

「人」に着目した
教育研究の再構築

大学の教育研究の余力ではなく、
「地域貢献型」の大学として、大学の総合力を
活用した積極的で波及効果の高いものとする

5

大学改革推進の視点

特色ある教育研究

大学における基礎研究・基盤研究を尊重しつつも、「山口県」にかかる実証的な教育研究への取組みを進め、その成果を行政施策や大学教育に生かすなど県民に還元される研究への取組みを促進する。

◎山口県の歴史等に深く関わりを持つ国内外の大学との学術交流の推進

◎地域社会との交流やコミュニケーション能力、人間理解力の育成を促進するための学生の学外活動の推進

(ボランティア活動、インターンシップ、体験学習等)

◎山口県の産業、経済、歴史、文化、自然等の資源や特性に着目した科目の開設
(「やまぐちの歴史と文化」等)

◎山口県の行政課題に関する科目の開設
(「地域学」、県庁職員等の活用)

少子高齢化“先進県”山口県の課題



◎健康福祉分野における高度な専門職・地域の指導者の育成

◎福祉系職員や看護職員等について専門的能力の向上



6

<共生>教育のコンセプト

○学生の質的变化
(コミュニケーション力の低下／自己効力感の希薄化)

○地域の変化
(少子高齢化の進展／停滞性)

若者の
エネルギー

地域の教育力

共生教育

(interactive learning)

大学教育の
活性化

地域の活性化

7

共生教育の展開

(2007年度～2009年度) 現代的教育ニーズ取組支援プログラム テーマ4
「持続可能な社会に繋がる人的財産の育成～新生活スタートから持続可能な生活基盤づくりを支援する実践的環境・健康教育～」

(2007年度～2009年度) 現代的教育ニーズ取組支援プログラム テーマ1 地域活性化への貢献(地元型)
「やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開～山口市の都市部と田園部におけるワークショップ型授業による団塊世代と若者定住促進～」

(2007年度～2009年度) 特色ある大学教育支援プログラム「重層的學生支援教育」による福祉人材養成～学生の成長課題と専門教育課題の有機的結合による福祉的人間力獲得をめざして～

(2007年度～2010年度) 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム「総合的人間関係力を涵養する学生支援～大学と地域で作るプレ社会における実践的トレーニング～」

8

(2009年度～2011年度) 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム
「個性的小規模大学連携による地域活性型e-quality仮想的大学の創生」

(2012年度～2014年度)
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（産業界ニーズGP）「インターンシップ充実による就業意識の涵養」

(2012年度～2016年度)
グローバル人材育成推進事業(タイプB:特色型)
「山口県立大学 グローバル人材育成推進事業」

(2013年度～2017年度)
地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)
「『知の融合』と『異世代交流』による地域活力の創生」

9

地域共生演習①(マチ型体験)

防長路

山口市最後の夏祭り「もりさま祭り」。毎年9月1日に1年間の無事を祈り、商店街西端にある荒高地区で開催される。しかし、少子高齢化が進み、祭りの存続が危ぶまれた時期も、現在この祭りは盛況で、むしろ元気づけるくらい輝いている。

地域と大学

県立大紙上レクチャー

<18>

活動に県立大の2人の教員が関わっていた。ある日、地区の方から「先生方もいいが、学生と事業を展開したい」と声を掛けられ、「地域共生演習」という授業の話をした。この科目は、地域が先生」というモットーの下に、学生が県内各地で行われる活動にただ参加するだけでなく、地域住民と一体となり、企画から実施までのプロセスを教わり体験させてもらう

もりさま祭り

国際化推進室 シャルコフ・ロバート室長



女みこしを盛り上げる県立大生



米国ニュージャージー州出身、45歳。1989年、来日と同時に山口へ。外国語としての英語教授法が専門で、96年に県立大に着任。英語教員免許科目などを担当し、大学全体の国際交流事業の企画、実施、運営を任されている国際化推進室の室長を務める。テレビ、新聞、各地での講演を通じ、山口の歴史と文化について語る。2007年から地域共生演習のもりさま祭り担当教員。

山口を愛すきっかけに

代わりに若い力を貸すと。いう形で展開されている。祭り主催者からのアプ

ローチがあつてから6年。その間に祭りは数人の住民と子どもがみこしをリヤカーに乗せて引く、という形から50人程の子どもみこしと県立大の女子学生、そして高次連携先の野田学園の女子高生以上の応援団を含めた60人以上による本格的な女みこしも加わった。この勢いも手

◆日曜日に掲載します

10

台、夜店、子どものコナーなどがあり、数百人の人出でにぎわう。なぜだろう？参加者全員が祭りそのものに魅力とやりがいを感じているからだろうか。地域の方にとっては、昔からの伝統を継続させ、次の世代へと引き継ぐという夢が実現できるということ。学生にとっては、単位がもらえるという魅力もあるだろう。しかし参加した学生はほぼ毎年口をそろえて「大変だったけど、このような達成感は一生涯の宝物だ」と言う。そして、このようにして学生が山口という地域を好きになるきっかけづくりができることが「県立」大学の大きな喜びだ。

地域共生演習②(ムラ型体験)



田んぼの学校



里山の下草刈りや、竹ベッドづくり体験



間伐材によるログハウスづくり



炭焼きの体験

11

学生活動支援センター



災害ボランティア

学生が主体となって募金活動やチャリティイベントなどを実施し、県内外の災害支援活動や地域における防災活動などを行う。



小学生のための 夏やすみ宿題楽しく学ぼう会

学生が先生となって、小学生の夏休みの宿題をサポートする。

その他、一緒に遊んで思いづくりをしたり、学生や教職員が自分たちの活動を生かした40分授業を行う。

インスパイア・ジャパン

ボーイスカウト日本連盟が世界各国から青少年を招き、福岡・山口・愛媛の3会場で日本文化などを体験しながら、日本の青少年との交流を深る事業。



12

YPUドリーム アドベンチャー プロジェクト

大学生活をさらに楽しく豊かにするために、学生が自主的に企画・運営する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助することで夢の実現を支援する事業

【活動事例】

◎東北復興支援プロジェクト

: 高校や地域に赴いて、復興状況についての報告会などを行う。

◎YPU SWEETS PROJECT

: 山口県立大学をPRできるお菓子を開発し、県内で販売する。

◎地域につながりをもたらす「犬カフェ」プロジェクト

: 宮野地域の公園で動物と触れ合える「犬カフェ」を開催する。

◎「おいでませ 紙芝居へ」

: 山口の昔話を題材にした紙芝居を作成し、上演する。



県立大学と地域をつなぐ
宮野駅“着物喫茶”

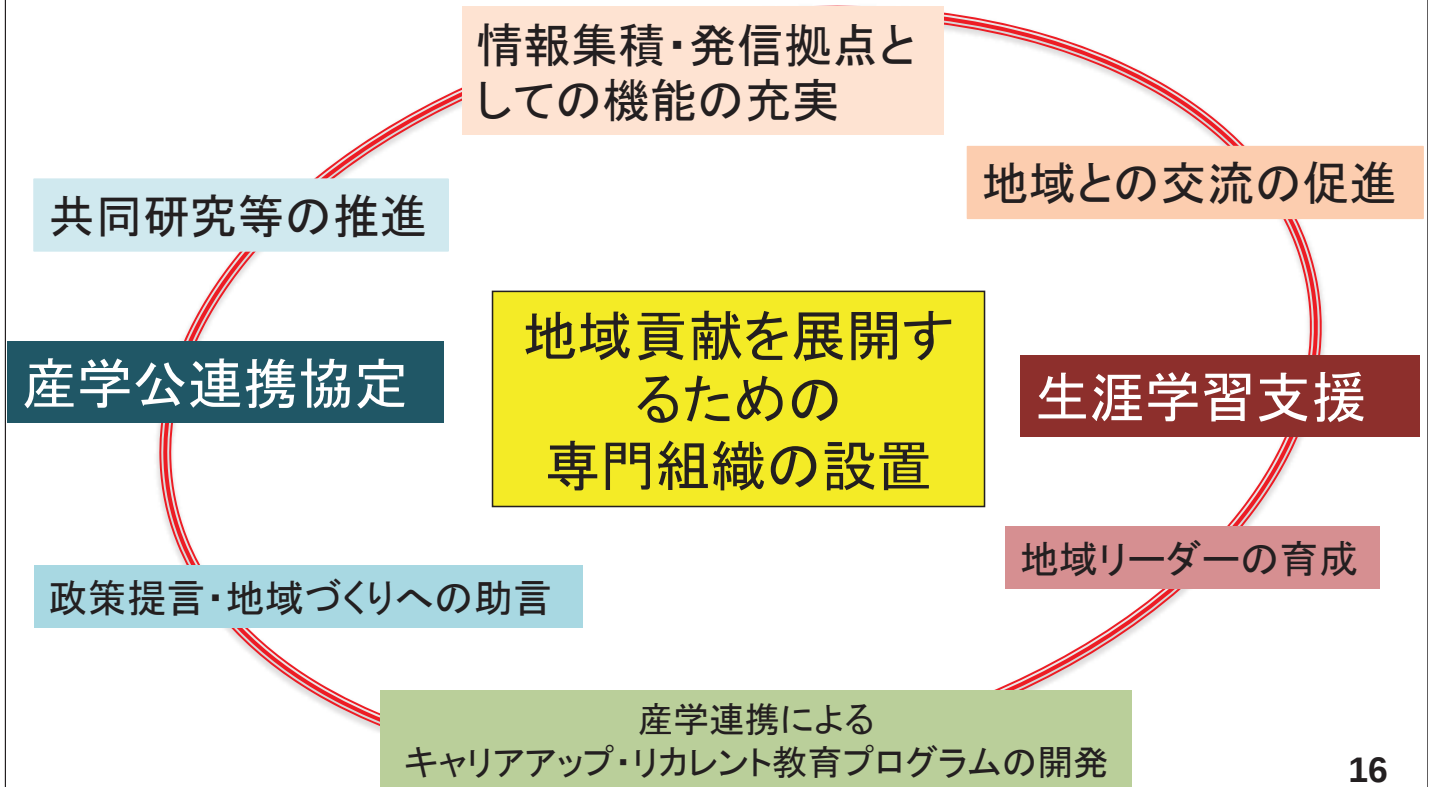


農業スタイルコレクション

13

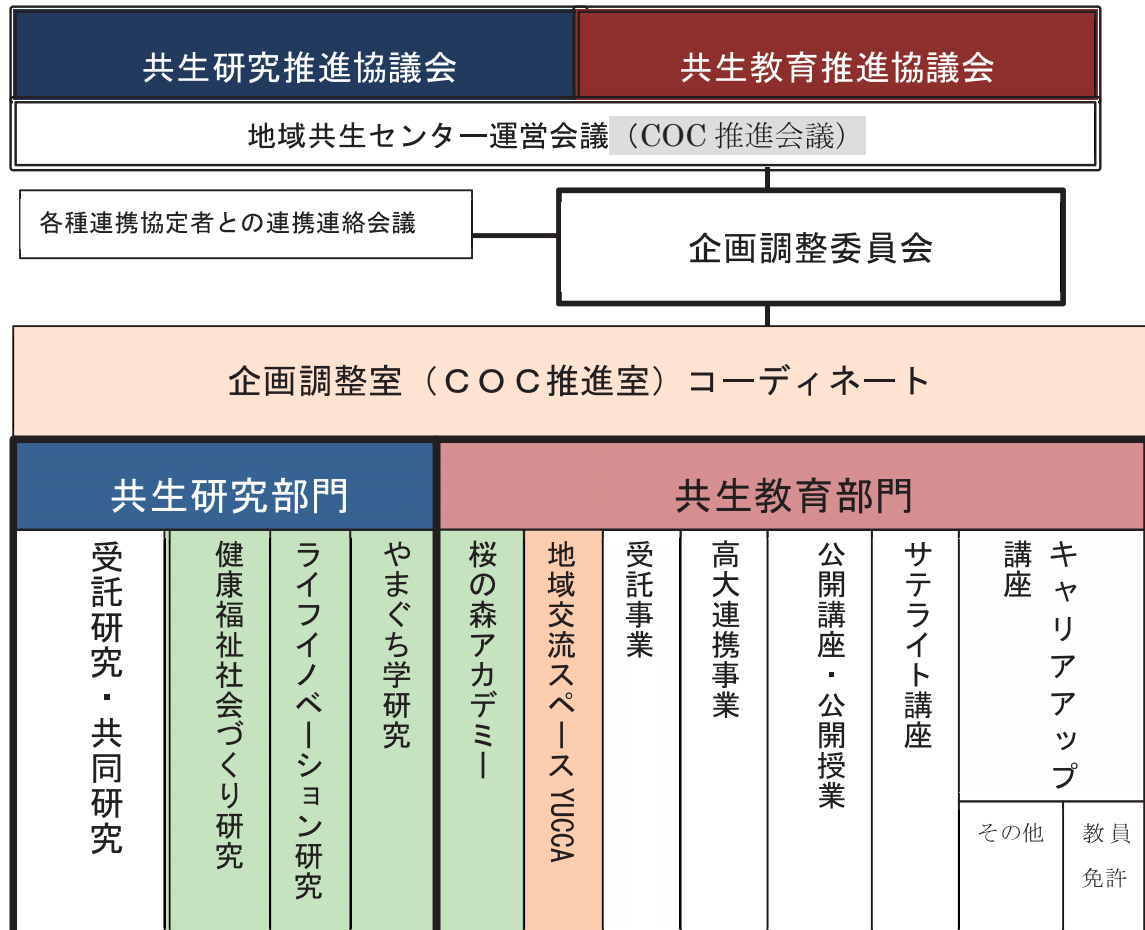
地域社会への積極的関与

「地域貢献型」の大学として、政策の提言、地域課題の解決、国際化の推進、生涯学習への支援、地域づくりへの助言等、さまざまな地域ニーズに積極的に対応する。



16

附属地域共生センター



17

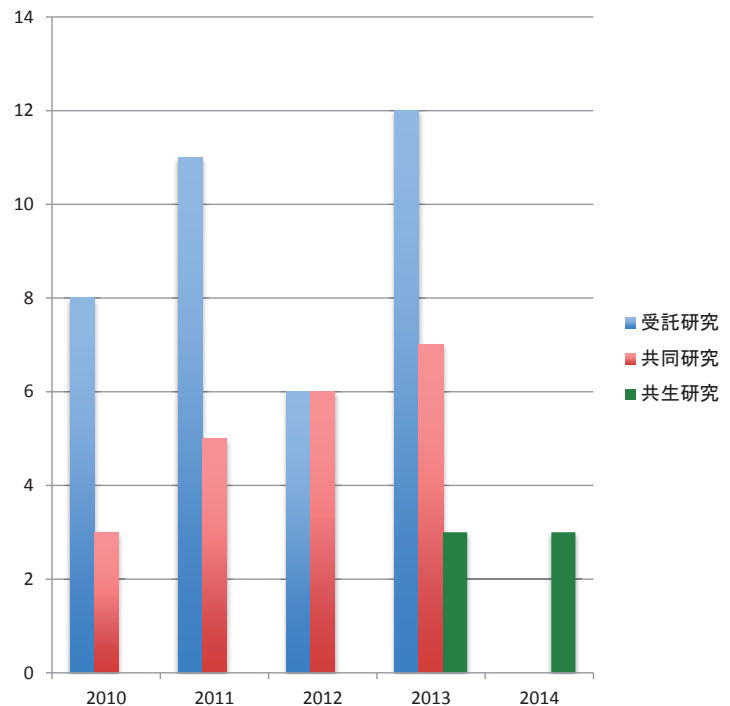
共生研究部門

研究・開発相談

受託研究

共同研究

共生研究(COC)



18

◎豆腐の風味成分の解明と抑制技術の開発

◎山口県産の農産物で作る、オリジナル性を高めた八宝茶の商品開発

◎ふるさと産業振興に係る県民意識及び新たな県産品ブランド開発に関する調査



木製家具のブランディング

【健康福祉社会関連調査】

◎山口県におけるがん検診受診率の実態調査

◎虚弱な高齢者の健康づくりに関する生活習慣等の調査研究

19

共生教育部門

県内各地で、延べ206講座
受講生数 4,530名
(44名／全教員1人当たり)

キャリアアップ講座
テーマ別
有料

公開講座

県内市町3箇所
各学部別
4～5回連続講座
無料

サテライトカレッジ
テーマ別
4～5回連続講座
有料

公開授業

公開講演会

高校生向け出前講義

20



21



- **Y**amaguchi Prefectural
- **U**niversity
- **C**reates
- **C**ommunity
- **A**ctivities

22

相談室の目的

当相談室は、地域のみなさんがそのライフスタイルに
よいて遭遇する健康や家庭の悩み・不安に対して相談に
応じ、みなさんの QOL（生活の質）を高めるための支援
をすることを目的としています。

相談・指導には、山口県立大学の教員（医師、助産師、
看護師、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士など）
が、それぞれの専門性を生かして担当させていただきます。

対象となる方

- ゆっくり時間をかけて相談に乗ってもらいたい方
- どこに相談に行ってもよくわからない方
- 問題の整理をしたい方
- 病院や公的な相談機関へは行きにくい方
- 専門家のアドバイスがほしい方
- 教員の講座等を聞いて、相談してみたいと思われた方
- 仕事上のアドバイスがほしい方
- 問題を抱える家族や友人への対処法を知りたい方
- ひとりで弁護士に相談するのは不安な方
- 別機関で相談はしているが、他の意見も聞いてみたい方



ご利用案内

完全予約制

ご希望の相談日の1週間前までに電話予約をお願いします。
お問い合わせ・お申し込みは、地域交流スペース Yucca
（ユッカ）コーディネーター 緒方まで。

TEL (083) 934-8011

FAX (083) 934-8012

*相談日時は平日9時～17時の時間帯となります。

秘密厳守

相談内容についての秘密は厳守します。

相談料

1回 40分 3,000円

*当日、受付にてお支払いください。

*グループ相談の場合も、1回の料金は同額となります。

相談員

相談員は年度ごとに替わる場合があります。
最新の相談員については、山口県立大学のホームページ
に掲載しています。

<http://www.yamaguchi-pu.ac.jp>

MAP

地域交流スペース Yucca（ユッカ）
〒753-0021 山口市桜島6丁目7番15号



23

2014 Yucca

両親学級 開催のお知らせ

参加されたパパに
「父子健診呼称」
プレゼント！

日時：平成 26 年 11 月 9 日(日)
13 時 15 分～15 時 30 分(13 時より受付)

内容：赤ちゃんのお風呂体験
～赤ちゃんと同じ大きさのお人形で実際に体験してみよう！～
癒しのアロママッサージ体験
～ハンドマッサージを企画しています。リラックスできるひと時を！～

参加されたママに
家族みんなで、
新しいもののちを
わかえる感動と
喜びの
「絵本」
プレゼント♪

対象者：妊婦さんとパートナー(もしくはご家族の方)
参加費：無料
実施者：山口県立大学 別科助産専攻学生
申し込み方法：Yucca(ユッカ)にお電話でお申込みください。
TEL:083-934-8011(平日のみ 9:00～17:00)
募集期間：9 月 1 日～11 月 2 日(先着 8 組まで)
両親学級についてのお問い合わせ先：教員 三谷明美
TEL:083-933-1456 E-mail:mitanien.ypu.jp
内容などお気軽にお問い合わせください。
場所：Yucca(ユッカ) 山口市桜島 6 丁目 7-15 (駐車場完備) 国道 9 号線沿い 宮野駅より 15 分、県立大看護棟より徒歩 5 分



Baby Café (子育て支援事業)



学生の企画による 住民向けの 認知症講座



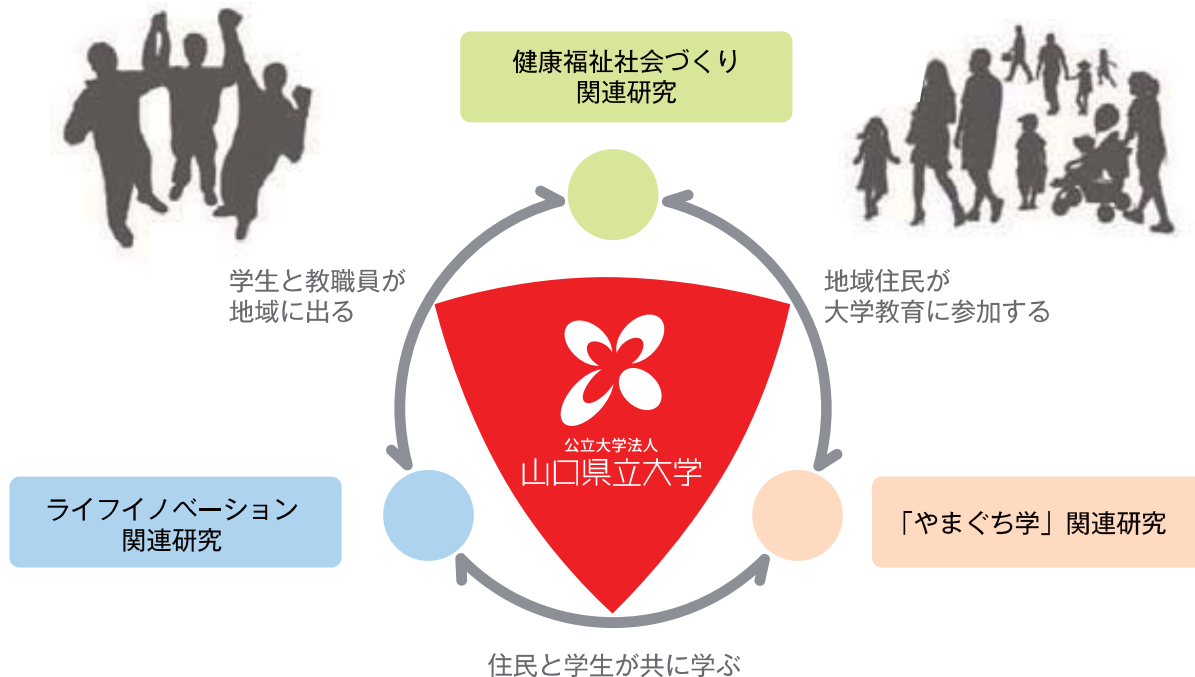
高大連携活動 (高校生のためのボランティア講座)



地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)

「知の融合」と「異世代交流」による地域活力の創生

山口県立大学は、**共生研究システム**と**共生教育システム**の展開により、
地(知)の拠点として地域活力を創生するエンジンになります。

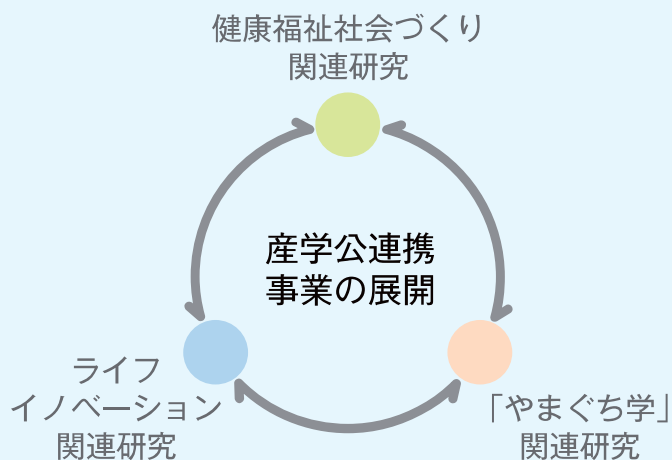


26

効果：地域の未来を切り拓く実践的知力の錬磨

共生研究 地域課題についての実践的研究

「知の融合」研究システム



県政・県民のシンクタンクとしての
機能強化

少子高齢社会における3つの地域課題
への挑戦

- ◎健康福祉社会づくり研究
- ◎ライフイノベーション研究
- ◎「やまぐち学」研究

知の融合によるダイナミックで実践的な研究

- ◎学部・学科を超えた研究チーム
- ◎産学公による協働研究体制づくり

研究成果の積極的な地域社会への
発信・還元

27

効果： 豊かな社会性と地域マインドの醸成

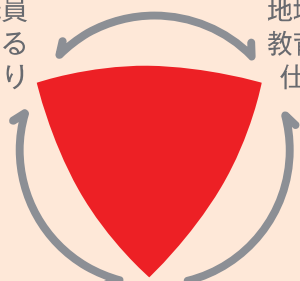
「桜の森アカデミー」の創設

共生教育 地域の教育力を生かす大学教育

「異世代交流」教育システム

学生と教職員
が地域に出る
仕組みづくり

地域住民が大学
教育に参加する
仕組みづくり



住民と学生が共に学ぶ「共学」の仕組みづくり
桜の森カレッジの単位化、コース化

① 住民と学生が共に学ぶ共学システム

アクティブ・ラーニング方式

② 履修証明制度による系統的な公開講座

「やまぐち学マイスター」の認定

「健康づくりマイスター」の認定

③ 実践的な学習効果の発揮

地域観光ボランティアとして活躍

地域活動のリーダーとして活躍

＊地域マインド：生まれ育った地域や人々との繋がりを大切に思い、地域社会の一員として貢献できる人材になりたい、という肯定的人生観

28



アクティブラーニング



異世代交流



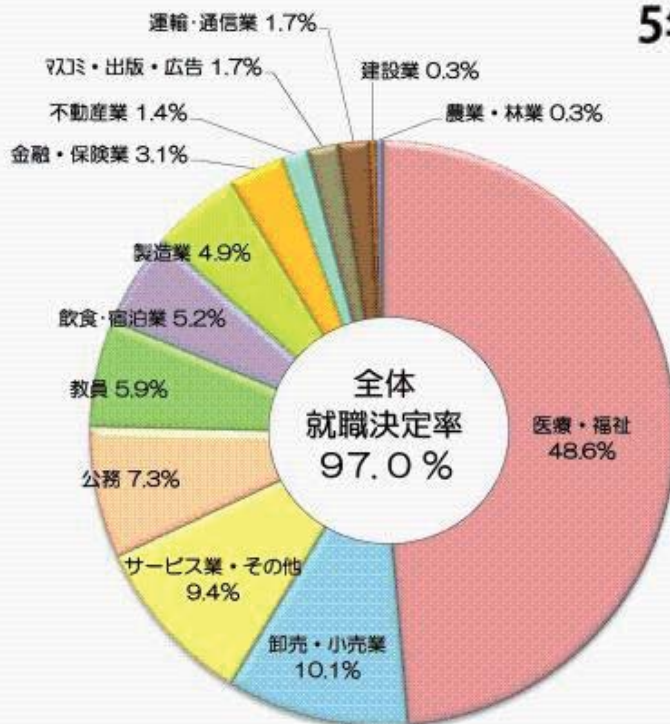
29

課題 と 展望

【就職状況】

就職決定率 **97.0%** (平成25年度卒業生)
(全国平均 94.4%)

5年平均就職決定率 **96.2%!!**



就職率ランキング

◆ 文 系 ◆
中国・四国地区 社会福祉学部 **第2位**

◆ 理 系 ◆
中国・四国地区 看護栄養学部 **第2位**

30

◎ 地域活力担う人材養成

少子高齢社会を担うヒューマンサービス人材
(保健・医療・福祉)の確保・定着の推進

○看護師の県外流出抑止

○社会福祉士(市町の福祉職、ケアマネ等)

地元中小企業・観光関連事業における
インターローカル人材の雇用促進

31

◎新産業戦略への積極的参入に挑戦

『地域イノベーション戦略プログラム』等への参加
ライフイノベーションを切り口として

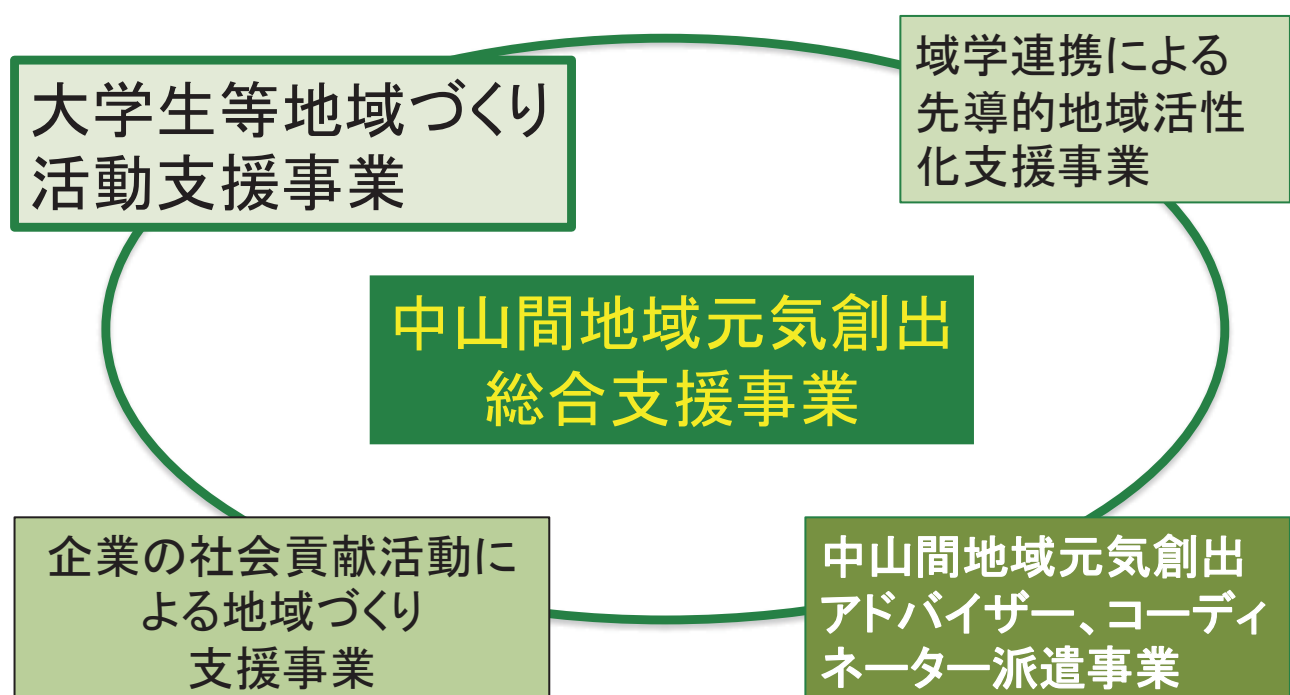
★ やまぐち次世代産業クラスター
医療関連産業クラスター構想

Center of Community として
地域における産学公連携コンソーシアムの
活性化

32

◎地域創生へ向けて 県政のシンクタンク機能の強化

◎「中山間地域づくりサポートセンター」機能の充実



33



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University